



IR REPORT

株主の皆様へ

第113期上半期の業績は堅調に推移いたしました。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループの第113期上半期（2026年2月1日から2026年7月31日まで）の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概要等をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調にある一方で、物価上昇の長期化や中東情勢の緊迫化による地政学的リスクの高まり等から、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは3カ年計画「中期経営計画2028」の2年目にあたり各事業の業績向上に努めました結果、当中間連結会計期間における売上高は151億6千3百万円、営業利益は24億5千9百万円、経常利益は25億円、親会社株主に帰属する中間純利益は16億9千9百万円となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、2026年9月8日の取締役会において1株につき40円をお支払いすることを決議いたしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

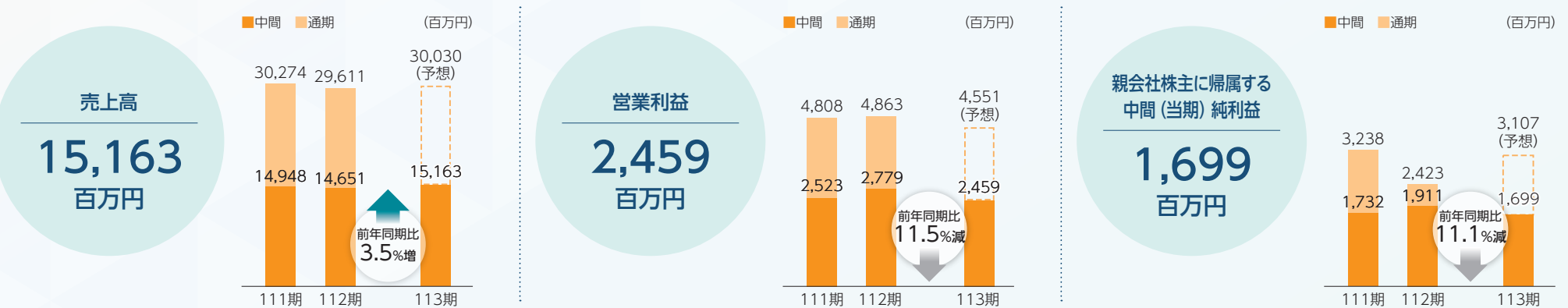
2026年10月



取締役社長

永田 泉治

財務ハイライト（連結）



より詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。→<https://subaru-kogyou.jp/ir/index.html>

セグメント別営業概況（上半期）



道路関連事業

売上高構成比
91.7%

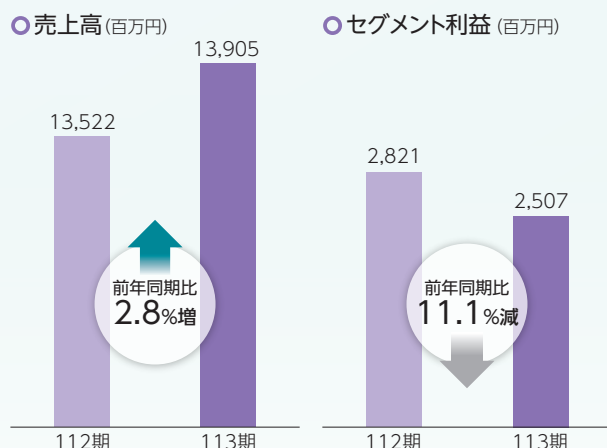
▶主要なサービス

- 道路維持管理業務
契約により年間を通じて行う業務であり、指示書に基づき行う道路及び道路附属設備の維持・補修等
- 道路土木工事
都度契約により行う、道路及び道路附属設備の土木工事
- 道路清掃業務
道路及び道路附属設備の清掃作業
- その他業務
有料道路等の売店運営、橋梁・構造物等の設計業務、道路環境関連製品の販売、太陽光発電事業

道路建設業界においては、政府による防災・減災、国土強靱化対策の推進もあり、公共投資は堅調に推移したものの、慢性的な建設技能者不足や労務費・資機材価格の上昇により、依然として厳しい事業環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループの道路関連事業は、積算精度の向上や安定した施工体制の構築等を通じて、一般競争入札における総合評価落札方式への対応強化を図りました。道路土木工事では、大規模な橋梁補修工事が順調に進捗したこと等により増収となりました。また、年間契約を主とする道路維持管理業務においても、積極的な営業活動により受注を重ね、増収となりました。一方、道路清掃業務では、雪氷対策作業の減少に加え、新規案件の受注が前年同期を下回ったことから減収となりました。

以上の結果、道路関連事業全体としては増収となりましたが、前年同期に計上された価格スライド分の剥落等の影響により、減益となりました。



レジャー事業

売上高構成比
4.7%

▶主要なサービス

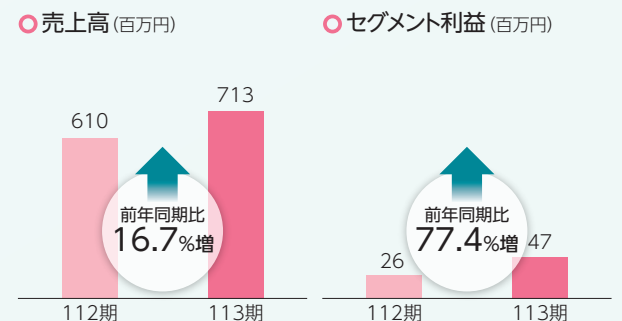
- 飲食店経営
- 飲食物品等販売
- マリナーの運営

飲食業界においては、インバウンド需要の後押しもあり、外食需要は概ね堅調に推移しましたが、消費者の節約志向の高まりや原材料価格の高騰等により、引き続き予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社の飲食事業では、顧客サービスの向上や社員教育の強化に取り組むとともに、予約対応にかかるオペレーションを改善し、回転率の向上を図ったことにより増収となりました。

マリナー事業においても、年間契約の船舶係留数が引き続き高水準で推移したことに加え、船舶販売が好調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、レジャー事業全体としては前年同期に比べ増収増益となりました。



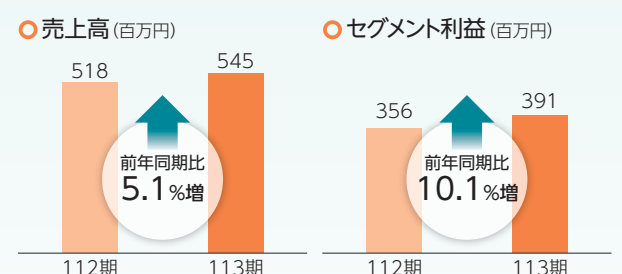
不動産事業

売上高構成比
3.6%

▶主要なサービス

- 各種賃貸用不動産の運営管理、不動産売買、不動産仲介

不動産事業は、前期に取得した物件も含め、賃貸用事業用地等が堅調に稼働したことにより、前年同期に比べ増収増益となりました。



令和8年熊本地震の被災地域で 支援活動を行いました

令和8年7月28日に発生した「令和8年熊本地震」により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。当社グループにおきましては、国の要請に応じ、地震発生直後から復旧活動に携わっております。被災地の一日も早い復旧・復興に向けて尽力してまいります。

▼給水活動の様子（水道局、小学校、老人ホーム、救護施設等）



ONE POINT

災害時における協定



スバル興業は、国土交通省・自治体等と、災害時の道路インフラ復旧に関する協定を締結しております。

人員・資機材を迅速に手配し、早期復旧を支えます。

協定の詳細はこちら ➡ <https://subaru-kougyou.jp/esgcsr/social.html>

NEW OPEN

ドトールコーヒーショップ 大手町ゲートビルディング店

街の緑を望む、新しい一杯の場所。



内神田一丁目、大手町ゲートビルディング1階に位置する、街に開かれた開放感あふれるお店です。

大きなガラス窓から街路樹の緑を望む心地よい空間で、美味しいコーヒーとともに、ほっとひと息つく時間をお過ごしください。

住所 東京都千代田区内神田1-1-16 大手町ゲートビルディング1階
電話 03-5577-2210
営業 平日 7:00-21:00 土曜 8:00-17:00 日祝 休み

株式の状況 (2026年7月31日現在)

発行可能株式総数：20,000,000株

発行済株式の総数：13,310,000株

株主数：5,891名 (前期末比 △997名)

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東宝株式会社	6,806	52.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	806	6.25
SIMPLEX OYAKO FUND	626	4.85
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	420	3.25
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	295	2.28
野村證券株式会社	256	1.98
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	200	1.54
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	140	1.08
東宝ファシリティーズ株式会社	84	0.65
SCBHK AC LIECHTENSTEINISCHE LANDESBANK AG	84	0.65

(注) 1. 当社は、自己株式405,558株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除し、小数点第2位未満を切捨てて表示しております。

株主ご優待

(1) 優待権利確定日

毎年1月31日（年1回）のみ

※権利確定日の2営業日前までにご購入いただいた株式が対象となります。

※発送は4月下旬（年1回）となります。

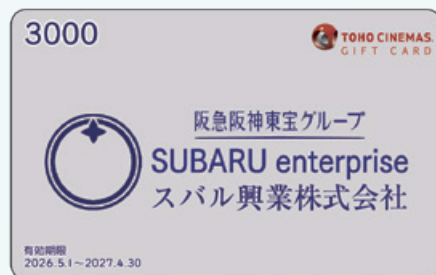
(2) 優待内容

TOHOシネマズ ギフトカード

全国の『TOHOシネマズ』においてご利用いただけるプリペイド式のカードであり、映画チケットの購入のほか、劇場内での各種ドリンクやスナック、パンフレット等の購入にご利用いただけます。

株式保有数	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
500株以上	2,000円分	3,000円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分
1,500株以上	4,000円分	5,000円分

中間期における発送はございません



お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き

▶三菱UFJ信託銀行株式会社

TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）へお問い合わせください。

それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き

▶口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。

※証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。

※当社は単元未満株式の買取請求は行っておりません。

2. 配当金の受け取り方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口にて「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に代え、銀行預金口座への振込の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれる銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

配当金の振込指定のお手続き

▶口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社

TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）へお問い合わせください。

スバル興業株式会社

東京都千代田区
有楽町一丁目5番2号

UD
FONT